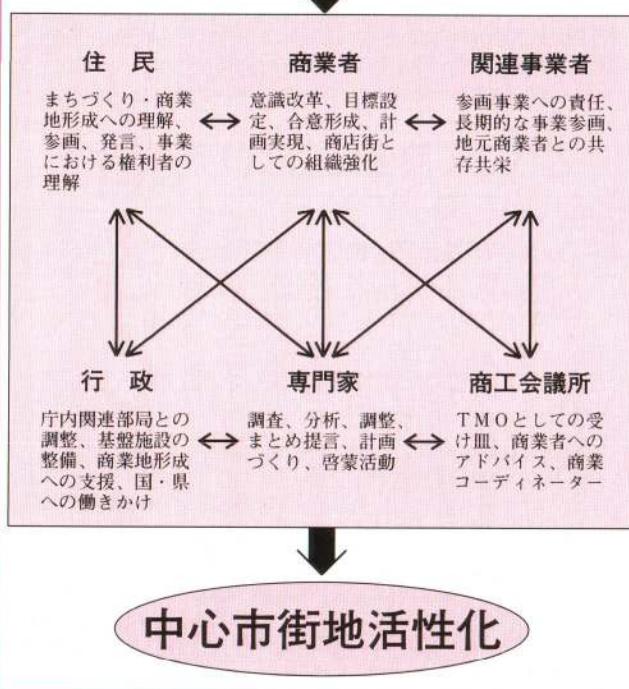


推進体制

商業者や関連事業者、商工会議所、行政などが各々の役割を果たしつつ、相互連携を図りながら中心市街地活性化をめざします。

特に、民間の商業・サービス業に関してはTMOが中心となって、活性化のための事業を推進します。
※TMOとはTown Management Organizationの略称で、まちづくりを運営・管理する機関を意味します。

基本計画



近年、車社会の進展、郊外開発とともに住民の移動などにより、中心市街地の空洞化が急速に進行し、その衰退は著しくなっています。中心市街地は、地域の文化・伝統を育み、各種の機能が蓄積した「街の顔」であり、その衰退は商業のみならず、地域の文化を形成し、地域の人々が集う「街の顔」の消滅をも意味しています。市では、「空洞化の著しい中心市街地の活性化を図ること、併せて二十一世紀に向け歴史ある中心市街地の景観を後世に残していくこと」を目的に大館市中心市街地活性化基本計画を策定しました。行政ではなく民間が主体となり、民間自らが実施する「生活者のための住みやすいまちづくり」への取り組みが始まります。

21世紀のまちづくり

中心市街地活性化基本計画

問 商工課 ☎49-3111 (内線286)

商業の活性化に関する施策

中心市街地を4地区（大館駅前地区・御成町地区・大町地区・常盤木町地区）に区分し、それぞれの地区的特性及び将来像を生かした事業を推進します。

人々が立ち寄りやすい街

- 循環バスの整備充実
- 商店街の共同駐車場の運営
- 事業所、公的施設内駐車場の休日開放

お年寄りが安心して暮らせる街

- 商品宅配サービス

若者が魅力を感じる街

- 若者のニーズに合った商業施設の誘致
- イベントの開催

観光客をひきつける個性を持った街

- 中心市街地及びその周辺の観光開発
- 大館ブランドの育成、開発
- 宿泊施設の整備

市民の憩いと交流の場となる街

- イベントの開催
- 歩行者天国の実施
- 家族連れ、女性、若者が気軽に入れる施設創出

魅力的に輝く個店が集積する街

- 空き地、空き店舗の活用
- テナントミックス
- 店舗の再整備
- 店舗のサービス向上
- チャレンジショップの支援
- 中心市街地総合カード

人々が暮らす街

- 住宅供給支援